



佐藤クリスタル

国際交流員コーナー

CIR's Corner

2022年8月 第3号



皆さん、こんにちは！江別市国際交流員の佐藤クリスタルです。「国際交流員コーナー」とは、私が毎月作成する国際交流や多文化についての記事です。様々な興味深い国際的なテーマを紹介します。

今月のテーマ:アメリカの夏を楽しもう!

先月のコーナーでは、7月4日の独立記念日を紹介しましたが、まだまだ夏の楽しい日々が続きますよ。今回は、シアトルの一番有名な夏祭り、アメリカのキャンプ、そして子ども達が大好きなアイスクリーム・トラックを紹介します。

シアトルの夏祭り:「シーフェア」

日本の夏といえば、夏祭りを想像するでしょう。実は、アメリカの各地でも様々なお祭りが開催されます。私の故郷のシアトルでは、「シーフェア」(Seafair)が毎年8月の第一週末に行われます。シーフェアは、湖と空を楽しむお祭りで、ワシントン湖畔に大勢の人々が集まります。主な行事が二つあります。

一つの行事は、
 hidroplane
(hydroplane)のレースです。 hidroplane



hydroplaneは非常に軽くて速いモーターボートで、水面に浮いているように見えます。その極端な軽さと速さのせいでひっくり返ることも珍しくないため、観戦者は皆ドキドキしながらレースを見ます。



もう一つの行事は、米海軍のアクロバット飛行隊のブルー・エンジェルス(Blue Angels)

による航空ショーです。湖の上にその芸術的なパフォーマンスを見ると、まるで映画の「トップガン」を生で見ているようなスリルを感じますが、私にとって、飛んでいる姿より、飛んでいる音が一番記憶に残っています。なぜかというと、私の実家はシーフェアが開催される公園の近くにあったため、お祭りの何日か前から、ブルー・エンジェルスが近所上空で練習していたからです。雷のように大変音が大きく、家の窓が揺れて割れそうな感じでした。ものすごくうるさかったですが、毎年無料で近距離からエアショーが見られました。

上記の行事の他、パレードと屋台もあります。しかも、シアトルは一人当たりの船の所有率がアメリカで最も多いので、ワシントン湖は巨大な船上パーティーになります。(ちなみに私の家は貧乏だったので、船を持っていませんでした！☹)





アメリカのキャンプ

私は都会で生まれ育ったシティーガールですから、アメリカであまりキャンプをしたことがないのですが、私の経験で、日本のキャンプよりワイルドな気がします。例えば、日本のキャンプ場は水道、トイレ、シャワーや温泉、炊事場、自動販売機などの設備が揃っていますが、アメリカのキャンプ場はテントを張るスペースしか提供しないかもしれません。そして、日本のキャンプ場は木が少なく、芝生がきれいに刈ってあり、人が管理している場所が多い一方で、アメリカのキャンプ場は自然のままです。キャンプが好きなアメリカ人は、森の中で、自然に囲まれながらキャンプがしたいと思います。これはシティーガールの個人的な意見なのですが、自然よりも、流れるトイレのある日本のキャンプ場の方が過ごしやすいと思います。



キャンプは自然を楽しむ目的があるかもしれませんが、料理を楽しむことも大事ですね。キャンプは家とは違う材料と調理方法が味わえます。アメリカ人は、キャンプでは必ず、「スモア」を食べます。スモアとは、英語で「Some more」のくだけた表現の「S' more」という意味で、焚き火で焼いたマシュマロと板チョコレートをグラハムクラッカー2枚で挟んで食べるととても甘いキャンプの定番デザートです。アメリカではスモアなしのキャンプがあり得ないので、夏の間はスーパーで全部の材料がレジの前に並んでいます。日本では輸入食材を扱っている店以外、グラハムクラッカーが売られていません！なので、スモアを作るのに適切な代用品を使わなければなりません。

私のおすすめは、ダイジェスティブ・ビスケットです。イギリスのビスケットなのですが、アメリカのグラハムクラッカーの地味な全粒粉の味に似ています。チョコレートが付いているビスケットにすると、板チョコを用意せずに済みます。

スモアのマシュマロの焼き加減は、人それぞれのお好みがあります。少し溶けた位が好き人もいますし、きつね色になるまでじっくり焼く人もいますし、敢えて焦がす人もいます。私は焦がす派です。小さなたいまつのようにマシュマロに直接火を付け、真っ黒になるまで燃やします。焦げたマシュマロの苦みとチョコレートの甘さが癖になる絶妙なマッチだと思います。(私だけかな?…)

アイスクリーム・トラック



最後に、毎年夏に現れるアイスクリーム・トラックの紹介をします。「トラック」と言いますが、私の近所は、トラックよりもバンが多かったですよ。暑い日に、スコット・ジョプリンの「ジ・エンターテイナー」という曲が近所中に響いてきたら、子ども達が小銭を持ち、あちこちの家の庭から飛び出してきました。アイスクリーム・トラックでは沢山の種類のアイスクリームやアイスキャンディーを売っていますが、子どもの時に一番人気だったのは、色々なキャラクターの顔の形で、目のところにガムボールが付いているアイスキャンディーでした。冷たすぎて、ガムボールが固くなっており、かじると歯を痛くする危険性がありましたが、子ども達は皆大好きでした。今でも、「ジ・エンターテイナー」を聞くと、その夏の味と痛みを思い出します。★



お問合せ先

教育部 生涯学習課 国際交流員
〒067-0074 北海道江別市高砂町24番地の6
Tel:011-381-1049 Fax:011-382-3434